

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語 A
科目基礎情報					
科目番号	0216		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2	
教科書/教材	e-learning 教材『TOEIC 学習システム』、『新TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー900』(講談社)、その他担当教員が適宜配布するプリント				
担当教員	菅原 崇, 清水 晃				
到達目標					
①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができない。		
評価項目2	コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができない。		
評価項目3	コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力をほぼ活用することができる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	TOEIC350 点以上獲得を目標に、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。				
授業の進め方・方法	後期の授業はe-learning教材『TOEIC 学習システム』、TOEIC 模擬問題、単語テストで構成されている。また各自適宜予習復習が必要となる。 英語導入計画: Documents				
注意点	後期の授業では辞書、リスニングに必要なイヤホン、未知の単語熟語などをメモするノート(および筆記用具)を毎回必ず持参すること。持参しない場合は居眠りやよそ事などと同様「履修の資格なし」とみなす。 授業中行ったTOEIC 模擬問題の確認や単語の修得を家庭学習として毎回行い、次の授業に臨むこと。 学習・教育目標 (C-2) 100% JABEE 基準1 (1): (a) (f)				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		
		2週	TOEIC練習問題		
		3週	TOEIC練習問題解答ならび解説		
		4週	単語テスト (ALのレベルC)		
		5週	単語テスト (ALのレベルC)		
		6週	TOEIC学習システム (ALのレベルA)		
		7週	TOEIC学習システム (ALのレベルA)		
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	中間試験解説		
		10週	TOEIC学習システム (ALのレベルA)		
		11週	単語テスト (ALのレベルC)		
		12週	単語テスト (ALのレベルC)		
		13週	TOEIC練習問題		
		14週	TOEIC練習問題解答ならび解説		
		15週	期末試験解答解説		
		16週			
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、プリント教材		
		2週	プリント教材、総合教材 Chapter 1 Animals' Sleeping Hours		
		3週	プリント教材、総合教材 Chapter 1 Animals' Sleeping Hours		
		4週	プリント教材、総合教材 Chapter 2 The Mechanism of Hiccups		
		5週	プリント教材、総合教材 Chapter 2 The Mechanism of Hiccups		
		6週	プリント教材、総合教材 Chapter 3 The Taste of Tears		
		7週	プリント教材、総合教材 Chapter 3 The Taste of Tears		
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	プリント教材、総合教材 Chapter 4 Male Brains and Female Brains		

	10週	プリント教材、総合教材 Chapter 4 Male Brains and Female Brains	
	11週	プリント教材、総合教材 Chapter 5 Light from Fireflies	
	12週	プリント教材、総合教材 Chapter 5 Light from Fireflies	
	13週	プリント教材、総合教材 Chapter 6 Merits and Demerits of Pyramids	
	14週	プリント教材、総合教材 Chapter 6 Merits and Demerits of Pyramids	
	15週	後期の総復習	
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	前2,前3,前6,前7,前10,前13,前14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	前2,前3,前6,前7,前10,前13,前14
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	
		実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2			

評価割合

	中間試験	期末試験	平常試験	合計
総合評価割合	200	200	150	550
前期	100	100	100	300
後期	100	100	50	250